

# 平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つばさ学園児童デイサービス運営事業				会計	款	項目	大	小
					01	03	02	07	02
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	増田 恒夫				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	概ね2歳から就学前の児童で、成長・発達に心配のある児童と保護者	意図	成長・発達に遅れが心配な児童に対して、運動、ことば、社会性・対人性など、全体発達を促す。
事業内容	児童デイサービスは発達の遅れが心配な児童に対して、日常生活における基本的動作の習得及び集団生活に適応できるよう、障害児の身体及び精神の状況並びに生活環境に応じて、適切かつ、効果的な指導・訓練を週2～3日の通園により行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年10月1日に開所する。その時点での利用人数は8名であった。平成24年度は、15名新入園児を迎え計22名で3クラスとなる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	延べ利用状況				
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成23年度は10月1日開所で8名の利用園児で延べ835名の利用であった。 24年度の利用人数は22名、延べ2,143名の利用人数であった。3クラス作り支援を行った。利用園児は、幼稚園や保育所との並行通園児が多い。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			22,916,443	25,997,832			
事業費(b)(円)			4,400,443	8,277,832			
うち一般財源			1,221,781				
職員給与費(c)(円)			18,516,000	17,720,000			
人役・職員(人)			2.00	2.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			2.00	2.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	児童デイつばさ利用園児が23人で、日数支援の観点からサービスの（クラス運営、カリキュラム、行事の作り方など）検証が必要である。	③取り組みの課題	今後の児童数の増加、様々な利用方法が考えられるため、児童デイサービスの運営方法が課題となる。
②今年度(H24)に実施した取り組み	つばさ学園と合同の行事（夕涼み会、運動会）やクラス対応の行事、個別指導などを行い支援の充実を図った。	④今後の改善計画	児童発達支援センターの設置に向け取り組む中で、社会資源の1つである児童デイつばさの機能（日数支援等）を充分活かすように努める。